

日 刊



発行所 電波新聞社

東京本社

東京都品川区東五反田1-11
-15 〒141-8715

☎03(3445)6111(大代表)

大阪本社

大阪市中央区北浜3-2-25
(京阪淀屋橋ビル6階) 〒541-0041

☎06(6203)3361(大代表)

西部本社

福岡市博多区博多駅前2-13
-23(扇寿ビル) 〒812-0011

☎092(431)7411(大代表)

©電波新聞社 2006

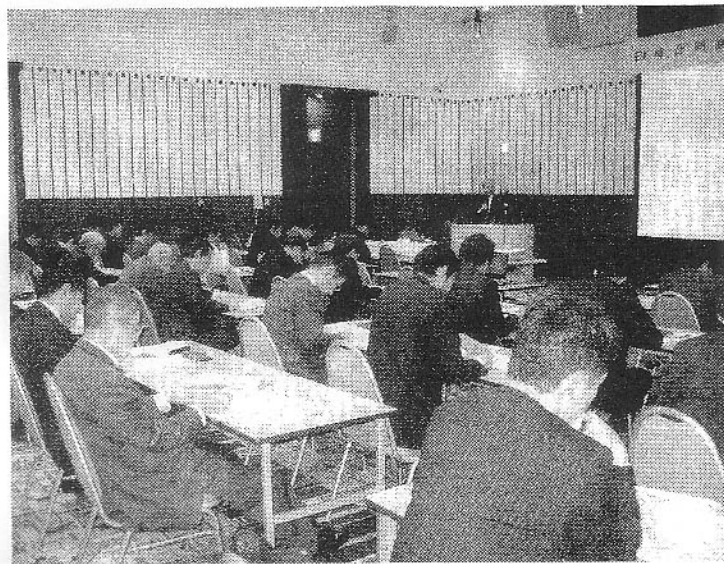
日韓合同で高調波研究会

京都で開催、53人が出席

【京都】高調波技術研究会(高博会長)は17日、京都のぼるるプラザ京都で「第7回日韓合同高調波技術研究会」を開催した。当日会場には、韓国の半導体製造メーカーをはじめ日本の電力、ガス、鉄道、自動車、電気、機械、半導体などの業種から53人が出席した。

高会長のあいさつに続いて、第3回高調波診断技術講習会の終了書授与式が行

われた。



石原教授の基調講演に聞き入る参加者

われた。

基調講演は、石原好之同志社大学教授が「電気機器と高調波」のテーマで講演した。石原教授は講演の中で、高調波はどのような状態から出てくるのかを説明するとともに、「高調波診断で悪いものだけを変え、寿命を長くしてコスト削減。3R(資源の有効活用)にも役立ち、省エネにもなる」ことを強調した。

高調波診断器導入事例の紹介では、韓国2社、国内4社の事例(診断結果)が紹介され、来場者は、講師の話に耳を傾け熱心に聞き入る姿が見られた。

交流会では、参加者から「ユーザー会を作ろう」との意見が出され、検討していくことが決まった。

なお、第8回日韓合同高調波技術研究会は、来年5月12日に開かれる。